

日本写真測量学会 令和5年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：令和5年11月16日(木) 9時40分～18時30分 学術講演会 参加費： 会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円(会員・非会員共) (いずれも論文集代含む)
9時50分～11時00分 特別講演「東日本大震災からの復興と未来への備え」 南 正昭 教授(国立大学法人岩手大学理工学部)
17時20分～18時30分 特別セッション「本学会の国際戦略を考える(2) 国際交流の多様なメリット」
19時00分～21時00分 懇親会 会場： ホテルニューカーリーナ「アイリス」 参加費： 一般5,000円/学生4,000円
11月17日(金) 9時30分～18時55分 学術講演会
11月18日(土) 巡検
巡検コース(予定)：盛岡駅前出発→龍泉洞→〈昼食〉→震災遺構たろう観光ホテル→盛岡駅(16:30頃解散予定)
巡検参加費：4,000円(バス代、昼食、入場料込)

開催場所：岩手教育会館(講演会場、展示会場) 〒020-0022 岩手県盛岡大通一丁目1-16

第1日目 11月16日(木)

9:40 - 9:50

開会のあいさつ

会長 清水 英範

9:50 - 11:00	特別講演	司会：中川 雅史(芝浦工業大学)
題目：「東日本大震災からの復興と未来への備え」 講師：南 正昭 教授(国立大学法人岩手大学理工学部)		

11:00 - 11:10

休憩

第1会場(2階・多目的ホールA)		第2会場(2階・カンファレンスルーム)	
セッションA	防災 司会：今村 能之(東京都立大学)	セッションC	土地被覆分類 司会：熊谷 樹一郎(摂南大学)
11:10 - 11:30 A-1	太陽黒点22年周期説による大地震再来の検証研究 ○村井 俊治(地震科学探査機構)	11:10 - 11:30 C-1	地上部バイオマス量の推定精度向上を目指した土地被覆図作成手法の開発 ○森 千春・三橋 怜・平山 英毅(千葉大学)・その他2名
11:30 - 11:50 A-2	三重県熊野市における時系列津波データの作成・可視化 ○大塚 真由(アジア航測)・和田 全史(熊野市)・奥田 颯斗(三重大学)・その他4名	11:30 - 11:50 C-2	農業・生態系保全のための関東域高解像度土地利用土地被覆図 ○伊藤 駿(筑波大学)・平山 颯太(JAXA)・今村 功一(RESTEC)・その他4名
11:50 - 12:10 A-3	地形・地質特性と土壌雨量指数に着目した土砂災害リスク評価とCNNによる被災地早期検知への応用 ○田中 優也・後藤 真太郎(立正大学)	11:50 - 12:10 C-3	セマンティックセグメンテーションを用いた高分解能航空機搭載合成開口レーダーの3偏波合成画像からの土地被覆分類の初期結果 ○児島 正一郎(NICT)・萩谷 俊幸(The MathWorks GK)
12:10 - 12:30 A-4	災害危険エリアに設置されたソーラーパネルの発電効率についての一考察 ○竹下 真帆・全 炳徳(長崎大学)	12:10 - 12:30 C-4	教師なし分類における小型衛星群時系列データの統計値の有効性評価 ○小田川 信哉・山本 順平(RESTEC)
12:30 - 12:50 A-5	破堤における迅速な復旧へのUAVグリーンレーザ計測成果を用いた土砂量算出手法の検討 ○井関 禎之・間野 耕司(パスコ)・西山 哲(岡山大学)	12:30 - 12:50 C-5	全国規模の衛星植生図化の現況と課題 ○原 慶太郎・平山 英毅(東京情報大学)
12:50 - 13:10 A-6	火山活動事象(噴石着弾痕・噴気)の自動抽出の検討 ○森 貴章・小森 惇也・谷口 宙河(アジア航測)・その他4名	12:50 - 13:10 C-6	全国規模の衛星植生図化に適用する詳細植生型の分類根拠 ～四国地域における67植生型の事例～ ○平山 英毅・原 慶太郎(東京情報大学)

13:10 - 14:10

昼食

14:10 - 15:20	ベンダーフォーラム 司会：中西 芳彦(国際航業)
1. リーグルジャパン(株)「RIEGL レーザースキャナー最新情報」/2. ケイエルバイ(株)「ドローン搭載型ハイパースペクトルカメラのご紹介」/他	

15:20 - 15:30

休憩

セッションB 写真測量・画像計測 司会：本間 亮平(アジア航測)		セッションD 都市・地域計画 司会：李 勇鶴(パスコ)	
15:30 - 15:50 B-1	多方向空中写真撮影成果の位置正確度の検証 ○高田 雅仁・中西 芳彦・檀上 拓也(国際航業)・その他2名	15:30 - 15:50 D-1	人口の空間的な分布特性と地価との関連性の分析 ○床井 晴香・熊谷 樹一郎(摂南大学)
15:50 - 16:10 B-2	クレーン周辺の三次元地図作成時の画像平行化手法の検討 ○小林 知生・須崎 純一・大庭 哲治(京都大学)・その他2名	15:50 - 16:10 D-2	空き家現地調査における空撮画像の判別精度向上の試み ○森本 裕真・熊谷 樹一郎(摂南大学)・畑尾 一貴(HawksMap)
16:10 - 16:30 B-3	オブリークカメラ(CityMapperII)の実戦投入に向けた取り組み ○八上 祐至・横溝 和則・河南 圭(朝日航洋)	16:10 - 16:30 D-3	L0D2建物モデル自動生成ツールの開発 ○小森 惇也・于 忠策・服部 聡子(アジア航測)・その他1名
16:30 - 16:50 B-4	空中三角測量～定義の変遷の考察 ○織田 和夫(アジア航測)	16:30 - 16:50 D-4	道路台帳更新における測量方法及び更新手法の検討 ○小柏 景司・樋口 陽子・大貫 加奈(アジア航測)・その他4名
16:50 - 17:10 B-5	UAVによる樹冠BRF解析のための葉と葉影の分類 ○村井 亮介・高木 方隆・若吉 慧門(高知工科大学)	16:50 - 17:10 D-5	位相差方式により観測された道路標識ノイズの形状復元 ○福士 沙織・高橋 洋二(朝日航洋)

17:10 - 17:20

休憩

17:20 - 18:30	特別セッション 題目：「本学会の国際戦略を考える(2) 国際交流の多様なメリット」
---------------	--

18:30 - 19:00

移動

19:00 - 21:00 懇親会 会場：ホテルニューカーリーナ「アイリス」

第2日目 11月17日(金)

第1会場 (2階・多目的ホールA)		
セッションE	干渉SAR・DEM	司会：松岡 真如 (三重大学)
9:30 - 9:50	E-1	DEMを用いた二時期標高差分において発生するノイズの除去方法 羽野 博・塚本 峻一・○手柴 沙和子(アジア航測)・その他2名
9:50 - 10:10	E-2	干渉SAR時系列解析による高速道路盛土の沈下計測 ○関口 将司(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)・野間口 芳希(日本工営)・穴原 琢磨(スカパーJSAT)・その他5名
10:10 - 10:30	E-3	SAR干渉解析による堤防変状検出：SBAS法を用いた事例 ○岡本 勝男・竹村 文・龍見 栄臣(国土防災技術)
10:30 - 10:50	E-4	航空写真を用いた浸水範囲把握による被災家屋被害実態の検証 ○中太 大智(一般財団法人河川情報センター)・今村 能之(東京立大学)・澤野 久弥(一般財団法人河川情報センター)・その他1名
10:50 - 11:10	E-5	拡散モデルを利用したGEDI波形からの地盤面位置推定の高度化 ○澤田 義人・三橋 怜・今井 正(JAXA)・その他2名
11:10 - 11:30	E-6	GEDI波形とplanetscope画像の融合による樹高マップ作製とDEM補正 ○澤田 義人・三橋 怜・今井 正(JAXA)・その他2名

11:30 - 12:15

セッションF 3次元モデリング		
司会：中野 一也 (金沢工業大学)		
12:15 - 12:35	F-1	3D都市モデル整備における品質確保に対する取り組み ○柳澤 彩紀・河合 雅己・完野 育政(国際航業)
12:35 - 12:55	F-2	地上撮影動画画像から作成された3次元点群データを用いた接面道路の幅員推定 ○鎌苅 章太郎・久保田 誠也(摂南大学)
12:55 - 13:15	F-3	TLS点群とビデオ画像によるVisual SLAMの精度評価 ○新田 蓮・松岡 真如(三重大学)
13:15 - 13:35	F-4	HoloLens2を用いた大規模モデルデータのMR表示に関する検討 ○若泉 拓磨・本間 亮平・守屋 三登志(アジア航測)
13:35 - 13:55	F-5	静岡県3D都市モデル作成に利用したScan to BIM技術の紹介 ○今井 友桂子・ワンキッドウォーラクン キッティサク・三浦 博之(朝日航洋)
13:55 - 14:15	F-6	空間パツファと縦断方向スムージングによる2次元地図の3次元化手法の開発 ○高橋 元気・横山 亮・車 文韜(国際航業)

14:15 - 14:25

セッションG 点群1		
司会：間野 耕司 (パスコ)		
14:25 - 14:45	G-1	レーザースキャナ点群と写真を組み合わせた精細な3Dモデルの生成 ○長坂 匡幸・藤原 龍・平山 智予(ホロラボ)
14:45 - 15:05	G-2	MMSに搭載されたSLAMの効果と応用 ○田嶋 誠司・大谷 仁志(コバコン)
15:05 - 15:25	G-3	点検用ドローンで計測したVisual SLAMデータ評価(仮) ○下川 光治・長尾 隆伸(アジア航測)・清水 智弘(西日本旅客鉄道)・その他2名
15:25 - 15:45	G-4	MMS取得点群からの車線境界線の半自動抽出 ○本間 亮平・橋本 侑弥・佐野 実可子(アジア航測)・その他1名
15:45 - 16:05	G-5	船舶SLAM点群をベースマップとした都市河川での自己位置推定 ○中川 雅史・木邨 直人(芝浦工業大学)・清水 悦郎(東京海洋大学)・その他1名
16:05 - 16:25	G-6	地上型レーザースキャナによる点群の判読性に関する基礎的な評価について ○中野 一也(金沢工業大学)

16:25 - 16:35

セッションH 点群2		
司会：蘇 しゅう (朝日航洋)		
16:35 - 16:55	H-1	TLSレーザ反射光の信号強度に依存しない樹木部位の分類手法の提案 ○熊崎 理仁・中村 薫(ホロラボ)・中村 良介(AIST)
16:55 - 17:15	H-2	深層学習を用いた航空レーザ点群のノイズ除去に関する考察 ○蘇 しゅう・角埜 嵩文(朝日航洋)
17:15 - 17:35	H-3	Thin Plate Spline曲面を用いた航空機LiDAR点群の自動フィルタリング ○李 勇鶴・坂元 光輝・篠原 崇之(パスコ)・その他1名
17:35 - 17:55	H-4	各種の航空機LiDAR点群フィルタリング手法の特徴比較および処理結果の評価 ○坂元 光輝・李 勇鶴・篠原 崇之(パスコ)・その他1名
17:55 - 18:15	H-5	深層学習による建物点群のクラス分類に関する研究 ○横田 宏行(朝日航洋)

18:35 - 18:55

閉会式 (表彰式 / 閉会のあいさつ 副会長 赤松 幸生)

昼食

第2会場 (2階・カンファレンスルーム)		
セッションI	農業・植生	司会：山下 恵 (東京農工大学)
9:30 - 9:50	I-1	無施肥水田における水稲のNDVIと土壌中の窒素含有率との関係性評価 ○佐藤 響平・後藤 真太郎・向高 新(立正大学)
9:50 - 10:10	I-2	ケニア・ビタ地区の蚊媒感染症のリスク把握に向けた浸水域の特定手法の検討 ○浦 和幸・森山 雅雄・皆川 昇(長崎大学)
10:10 - 10:30	I-3	Sentinel-2を用いたこんにゃく芋畑の品種及び年生別の分類 ○渡部 帆南・小田川 信哉(RESTEC)
10:30 - 10:50	I-4	ツアンバガラウ国立公園を対象にしたLandsat NDVI時系列データの差分解析 ○杉山 智美・谷口 健太・内田 主税(日本工営都市空間)
10:50 - 11:10	I-5	可視光赤と近赤外反射率の長期観測データに基づくNDVIの変化傾向把握の試み ○谷口 健太(日本工営都市空間)
11:10 - 11:30	I-6	ハイパースペクトルデータによる茶葉のクロロフィル含量推定のための波長選択 ○蘭部 礼・山下 寛人・一家 崇志(静岡大学)・その他2名

セッションJ 海洋・河川		
司会：武田 浩志 (国際航業)		
12:15 - 12:35	J-1	UAVIによる砂浜地形の観測：簡便化と精度の検討 ○山口 裕貴・堀井 樹・武若 聡(筑波大学)
12:35 - 12:55	J-2	VFX技術を用いた河川監視カメラ画像における水理特性データの合成手法について ○中島 健登・天口 英雄・今村 能之(東京立大学)・その他1名
12:55 - 13:15	J-3	砂防設備におけるUAV取得画像からの変状抽出 ○橋本 侑弥・本間 文徳・家崎 遥(アジア航測)・その他3名
13:15 - 13:35	J-4	画像認識による水面識別の汎化性向上並びに適正な精度検証に向けた取り組み ○依田 裕紀・曾田 康秀・小島 崇(東京建設コンサルタント)
13:35 - 13:55	J-5	水中ドローンFIFISH PRO W6を使ったSfMの精度評価実験 ○佐藤 利玖・山蔭 亮太(山口大学)・芝田 康平(和宏産業)・その他2名
13:55 - 14:15	J-6	画像回帰モデルを用いた水位判読AIの未経験水位への適用と精度向上に関する検討 ○小島 崇(東京建設コンサルタント)

休憩

セッションK 衛星リモートセンシング1		
司会：森山 雅雄(長崎大学)		
14:25 - 14:45	K-1	マイクロ波降水レーダーTRMM/GPMを用いた熱帯域における植生の長期変動モニタリング ○笹川 大河・奈佐原 顕郎(筑波大学)・久保田 拓志(JAXA)・その他1名
14:45 - 15:05	K-2	三次元地盤変動推定におけるSAR画像と内挿GNSSデータの不整合検出手法の開発 ○寺西 由夏・須崎 純一・大庭 哲治(京都大学)・その他2名
15:05 - 15:25	K-3	ALOS-2/PALSAR-2を利用した多時期動的農業用土地利用土地被覆図の作成 ○金居 新大(筑波大学)・佐竹 峻・平出 尚義(RESTEC)・その他5名
15:25 - 15:45	K-4	RPCモデルを利用したマッチングに基づくステレオ衛星画像からのDSM作成 ○岡田 典也・須崎 純一・石井 順恵(京都大学)・その他1名
15:45 - 16:05	K-5	時間経過を考慮した農業干ばつ発生要因の解析 -サブサハラアフリカにおける試み- ○宇田 航希・山下 恵(東京農工大学)・吉村 充則(日本大学)
16:05 - 16:25	K-6	UAVとSentinel-2を用いた水稲の被覆面積率の推定 ○佐藤 優気・松岡 真如(三重大学)・辻 武史(つじ農園)

休憩

セッションL 衛星リモートセンシング2		
司会：小田川 信哉 (RESTEC)		
16:35 - 16:55	L-1	静止軌道衛星Himawariと極軌道衛星Sentinel-2の位置合わせ：どちらに合わせるか？ ○松岡 真如(三重大学)・吉岡 博貴(愛知県立大学)・市井 和仁(千葉大学)
16:55 - 17:15	L-2	衛星搭載降水レーダーによる植生指標の開発 ○奈佐原 顕郎・笹川 大河(筑波大学)・久保田 拓志(JAXA)・その他1名
17:15 - 17:35	L-3	隣接シーンのLANDSAT画像に対する自動色調補正手法の検討 ○笹川 啓(国土地理院)
17:35 - 17:55	L-4	部分湛水を生じる天水田における後方散乱係数 ○星川 圭介(富山県立大学)・Porntip Phontusang(Khon Kaen University)
17:55 - 18:15	L-5	GCOM-C/AGBプロダクトの改良に関する研究 ○三橋 怜(JAXA)・森 千春・平山 英毅(千葉大学)・その他3名
18:15 - 18:35	L-6	SGLI LST推定アルゴリズムのNOAA/AVHRRへの移植 ○森山 雅雄(長崎大学)